

# オーストラリアドルについて

## <豪ドル高が進む>

足元の外国為替市場では豪ドルが上昇し、直近高値を更新、昨年10月につけた1豪ドル=1.07米ドル台に迫っています。

欧州債務問題について様々な協議が重ねられる中、市場は小康状態から徐々にリスク選好の動きを強めています。豪ドルは、昨年末から上昇基調にありましたが、25日に発表されたインフレ指標の一部が市場予想を上回ったことから2月会合での利下げ予想がやや後退し、さらに豪ドル高が進みました。

27日の東京市場では13時現在、1豪ドル=1.0615米ドル、1豪ドル=81.90円、程度となっています。

## <基調インフレ率は予想を上回る>

1月25日、オーストラリア統計局が発表した2011年10-12月期の消費者物価指数(CPI)は、食料品の価格低下の影響などから前期比横ばいの+0.0%(市場予想:+0.2%)、前年比では+3.1%(市場予想:+3.3%)の落ち着いたものとなりました。

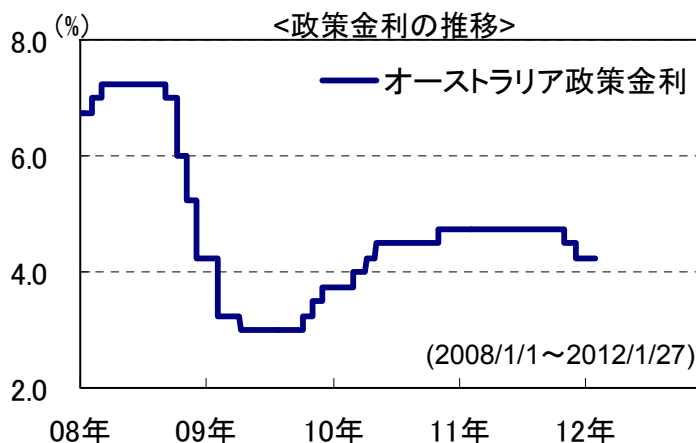
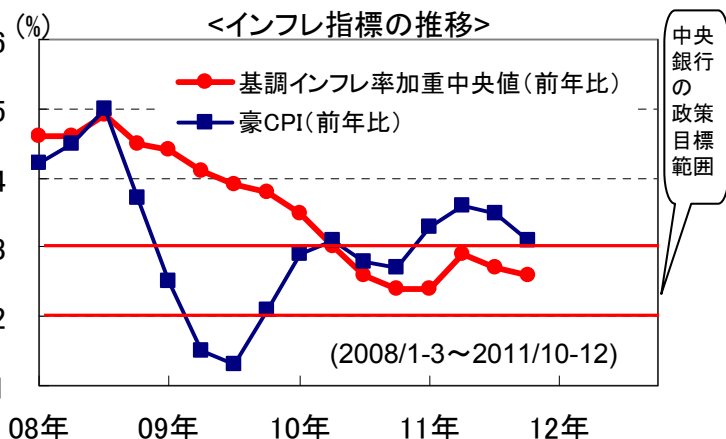
しかし、オーストラリア準備銀行(RBA:中央銀行)が重視する基調インフレ率は前年比+2.6%(加重中央値)となり、市場予想の同+2.4%を上回りました。

## <金融政策と為替の見通し>

RBAは、オーストラリア経済が欧州債務危機の悪影響を受ける懸念があるとの見方から、外的要因に対する予防的な措置として、2月7日に再度の利下げを行う可能性はあると思われます。

しかしながら、オーストラリア経済は堅調さを維持しており、景気が落ち込む状況にはないことから、国内要因から見れば、連続利下げを行う状況ではないと見えています。

豪ドルについては、利下げに転じているものの、ゼロ金利政策の長期化を示した米国などに比べ先進国の中では依然高金利であることや、欧州各国の格下げから、最上位格付けを維持する同国の安定性などが注目され相対的に資金が集まりやすいと考えられます。今後も基調としては豪ドル高の動きが継続すると予想しています。



出所: Bloomberg

■当資料は情報提供を目的として大和住銀投信投資顧問が作成したものであり、特定の投資信託・生命保険・株式・債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。  
 ■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料に記載されている今後の見通し・コメントは、作成日現在のものであり、事前の予告なしに将来変更される場合があります。■当資料内の運用実績等に関するグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。



大和住銀投信投資顧問

Daiwa SB Investments

大和住銀投信投資顧問株式会社  
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第353号  
 加入協会 社団法人投資信託協会、  
 社団法人日本証券投資顧問業協会